

乳がん 高度検診・治療センター NEW ーす NO. 37

2017.6

乳がん地域連携パスをご存じですか？

📌 かかりつけ医があなたのもう一人の主治医です！

「乳がん地域連携パス」とは、地域のかかりつけ医と市立貝塚病院の医師が、乳がんの術後治療とフォローアップを協力して行うための「治療計画表」のことです。近年、この「連携パス」を活用する患者さんが増えつつあります。当院では、患者さんの症状やお薬の処方などから、地域連携パスを利用するメリットが高いと考えた方におすすめしています。

◎乳がん地域連携パスについて

📌 ご利用の流れ

手術や抗がん剤治療などの専門的な治療が落ち着いた時点で案内します。かかりつけ医と情報を共有し、日々の診察やお薬の処方のかかりつけ医で、年に1～2回の定期検査・診察を市立貝塚病院で行います。ご自身でもしっかりスケジュールをご確認いただけるように、患者さんには「乳がん術後連携パス」のパンフレットをお渡ししています。

📌 メリット

ご自宅近くの医療機関を受診していただくことで、通院時間の短縮や通院費用の軽減、診察の待ち時間の短縮ができます。また、乳がん以外の病気やすでにかかっている病気に対しても、かかりつけ医に身近に相談することができます。

かかりつけ医の役割

- ★ 乳がん以外の病気の予防・日常の健康管理を行います。
- ★ 専門的治療（病院への受診）の必要性を判断します。
- ★ 風邪など一般的な病気のことやちょっとした心配ごとなどを気軽に相談できます。（乳がん術後であることを理解した上でのアドバイスが可能です）

市立貝塚病院医師の役割

- ★ 年に1～2回の定期的な検査・診療を行います。
- ★ 専門的な検査・診察・手術を行います。
- ★ 緊急を要する場合、必要な対応を行います。

乳がんの術後治療やフォローアップは長く続きます。また、乳がん以外の病気をきちんと予防管理することも、患者さんにとっては非常に大切なことです。

かかりつけ医と市立貝塚病院医師の「ふたりの主治医」を上手に活用していただき、乳がん術後の生活をよりよく送っていただくことを願っております。



乳腺外科
大城 智弥

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865